

東海学生アメリカンフットボール連盟
2022新型コロナウイルス感染対策 ガイドライン

【 公式戦開催時 】

東海学生アメリカンフットボール連盟
安全対策部

基本事項	
3密を避ける	密閉空間、密集場所、密接場面 を避ける。 これら3つの要素の内の、少なくとも1つ以上を排除すること。
マスクの着用	必ずマスク（又は同等の効果がある物）を着用すること。 人が集まる場所、人と対面する場合など他人と一定時間近接する可能性がある場合は、必ずマスクを着用すること。
手指の消毒・手洗い	外出の前後、施設への入退場時、不特定多数の触れる部分に触った後は必ず手指の消毒・手洗いを行うこと。
体調管理	検温を毎日行うこと。 規則正しい生活を送ること。 体調に異変を感じた場合は、外出・他人との接触はしないこと。 体調不良が続く場合は、学内保険センター、かかりつけ医、保健所等に相談すること。
感染予防・確認	新型コロナウイルス接触確認アプリを活用してください。

試合会場への入場が認められる者	
東海学生アメリカンフットボール連盟に2022年の役員・選手・チームスタッフとして登録されている者の内 下記の者。	
東海連盟役員・審判員 試合校選手・スタッフ 設営校選手・スタッフ スカウティング要員（1大学3名まで。氏名及び連絡先を指定の用紙に記入する。） * 全て東海連盟発行の役員証・選手証・登録証を携帯すること。 携帯しない者は入場できない。	
東海連盟登録外で入場が認められる者	
ゲームドクター 東海連盟指定のカメラマン 1名 東海連盟が入場を許可した者（ただし、氏名及び連絡先を指定の用紙に記入する。）	
観客の入場	
1. 無観客の場合	一切の一般人を観客席に入れない。
2. 無観客（見学者あり）の場合	緊急時対応の為、試合参加者の保護者及び試合校の監督・コーチの親族を見学者として入場を認める。ただし、人数を制限する。 見学者全員の氏名、連絡先を指定の用紙に記入する。
3. 観客を入れる場合	一般の観客者を受け入れる。 必要とされる場合は、観客全員の氏名、連絡先を指定の用紙に記入する。

会場に来るまで

体調管理

理事役員・選手・スタッフは毎日体温測定・体調確認を行う。
風邪と同様の諸症状、味覚・嗅覚異常の有無を確認する。
試合当日の出発前にも体温測定・体調確認を行う。
異常が認められた場合は来場を控え、自宅待機とする。

役員	
感染対策担当理事	<p>関係者入場時の体温測定、手指消毒、登録証確認を行う。入場の資格があることを確認する。</p> <p>必要と思われる場合は、氏名・連絡先等の記入を求める。</p> <p>体温測定者等関係者受付で入場者に対応する者には、感染対策のための装具（マスク、フェイスシールド、手袋）を着用させる。</p> <p>体温が37.5℃以上ある者には、専用書類に必要事項を記入させ帰宅を指示する。</p> <p>37.5℃に近い場合には、当該者にしばらくの間待機を指示し、一定時間後改めて体温測定を行う。</p> <p>更衣室への同時入室人数を設定し、立ち合い理事に伝える。</p> <p>感染対策備品が配置場所に適切に配置されているか確認する。その備品の使用方法・使用箇所等を指示する。</p> <p>試合校より提出される名簿には、当日会場に来ている者が記載されていることを確認する。来場していない者は、名簿から削除するよう指示する。</p> <p>試合校に対し、練習中・試合中共に感染対策に不備がないか注視する。不備が見られる場合は、立ち合い理事に修正を指示する。</p> <p>立ち合い理事に指示する猶予がない場合は当該者・当該行為に対し直接指示を行う。</p> <p>設営校が行う感染対策に不備がないか注視する。不備が見られる場合は直ちに修正を指示する。</p> <p>試合会場の、不特定多数が触れる部分を、定期的に消毒するよう設営校に指示する。</p>
	見学者がいる場合
	<p>提出された名簿を確認し、不備がある場合は立ち合い理事に修正を指示する。</p> <p>提出された見学者名簿を保管する。</p> <p>感染対策事項を遵守しているか確認する。守られていない場合は立ち合い理事に修正を指示する。</p>
	観戦者がいる場合
	<p>全ての観戦者に氏名・連絡先を記入してもらう。</p> <p>観戦者名簿を保管する。</p> <p>入場の前に、手指消毒を行うよう要請する。</p> <p>感染対策事項を遵守しているか確認する。守られていない場合は修正を指示する。指示に従わない場合、繰り返す場合は退出させる。</p>
常任理事・理事	<p>常時マスク着用とする。</p> <p>入場時には体温測定・手指消毒を行う。</p> <p>感染対策担当理事を補佐する。</p>

審判員	<p>入場時には体温測定・手指消毒を行う。</p> <p>ピンマイク等共用する備品を使用後に消毒する。</p> <p>試合中の給水ボトルは各々専用ボトルを準備し、特定審判員が管理しグラウンド内への搬入・搬出を行う。</p> <p>手指消毒用のアルコールスプレーを用意する。給水ボトルと管理を同じくし、給水時に手指の消毒を行う。</p> <p>控室にアルコール消毒用ポンプを用意する。入退出時に手指消毒を行う。</p>
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

試合校	
会場到着後	
入場時	<p>マスク着用。</p> <p>入場時には体温測定・手指消毒を行う。</p> <p>体温測定時に並ぶ時は、マスク着用の上各々 1m の間隔を取る</p> <p>監督等関係者スタッフも体温測定を行い入場する</p> <p>* 発熱があるものは、所定用紙に記録をして即帰宅する</p> <p>10日程度様子を見る。</p> <p>症状が増えた、ひどくなったら病院・保健所に連絡して相談する。</p>
更衣室	<p>密にならないように人数制限を行い、交代で更衣を行う。</p> <p>人数制限数は更衣室の広さに合わせて当日指示する。</p> <p>会話は慎む。相対さないよう注意する。</p> <p>更衣終了・荷物搬出後、室内備品、ベンチ、ドアノブ等使用接触した部位の消毒を行う。ただし、1日1試合の場合は、試合終了後更衣を済ませた後に行う。</p>
審判のコーチ訪問 アップ 試合前練習	<p>監督・コーチはマスク着用。対応する監督・コーチは3名まで。</p> <p>以降、選手はマスクをはずすため、指示等に対する返答は小さな声で、あるいはうなづく等行動で示す</p> <p>多数が集合する場合は、円陣ではなく、全員が1方向を向くように並ぶ。</p> <p>さらに、大きな声を出す場合は、相互の間隔（前後左右）を空ける。</p> <p>整列時は、発声しないようにすることで、お互い触れ合わない距離まで間隔を詰めることができる。</p>
試合時 ハーフタイム	<p>グラウンドでは、コーチはマスクを外してもよい。ただし、近接しての会話時にはマスクを着用する。</p> <p>コイントスは両チームキャプテン1名のみとする。</p> <p>ウォークライ・校歌・ハドルは、相互の間隔を取り発生する。</p> <p>又は、発声ではなく行動（動き）で表現する。</p> <p>コーチは、ウイングオフィシャル（サイドライン際の審判）の背後に立たず（ソーシャルディスタンスをキープ）、審判越しに大声を出さない。</p> <p>選手も、ウイングオフィシャル越しに大声を出さない。</p> <p>監督等指導者のグラウンド内の選手への指示、MGの残り時間のコール等大きな声を出す場合は、周囲（特に前方、発声に見合った距離）に人がいないことを確認する。</p> <p>Tr、MGは手袋着用。特に、選手の肌に触れる者、選手の肌に触れた物を回収・処分するスタッフは必ず常に着用する。</p> <p>給水は、個々にボトル等を用意し、複数人の使い回しはしない。又は紙コップ等を使用し、毎回破棄する。</p> <p>手に唾をつけない。指をなめない。</p> <p>口に含んだ水を吐き出さない。</p>

<p>試合終了後 更衣</p>	<p>使用した備品の消毒作業を行う。 密にならないように指示された人数で、交代で更衣を行う。 会話は慎む。相対さないよう注意する。 使用した個々人の防具類を消毒する。 以降マスク着用する。 室内備品、ベンチ、ドアノブ等使用・接触した部位の消毒をする。</p>
<p>退場</p>	<p>更衣終了、消毒完了後は直ちに会場から離れること。 会場周辺に滞留することの無いようにする。</p>

設営校	
会場到着後	
入場時	<p>設営校は常時マスク着用、選手証・登録証の携帯をする。</p> <p>入場時には体温測定・手指消毒を行う。</p> <p>体温測定者は、マスク・フェイスシールド・手袋を着用する。</p> <p>測定時に並ぶ時は、マスク着用の上各々 1m の間隔を取る。</p> <p>理事等関係者も体温測定を行い入場する。</p> <p>* 発熱があるものは、所定用紙に記録をして即帰宅する。</p> <p style="padding-left: 40px;">10日程度様子を見る。</p> <p style="padding-left: 40px;">症状が増えた、ひどくなったら病院・保健所に連絡して相談する。</p>
更衣	<p>密にならないよう人数制限を行い、交代で更衣を行う。</p> <p>人数制限数は更衣室の広さに合わせて当日指示する。</p> <p>会話は慎む。相対さないよう注意する。</p>
設営前ミーティング	<p>密にならないために</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.代表者のみ入室 2.グラウンド等屋外で打ち合わせ 3.全員入室 <p>発声・会話をしない条件で</p> <p style="padding-left: 40px;">ただし、各々接触しないような間隔を取る。</p>
設営時	必要以外の会話は慎む。必要時以外はお互い距離をとる。
感染対策備品配置	感染対策のための備品（アルコール消毒用ポンプ、不織布等）を各配置場所に配置する。
関係者受付	<p>試合校、関係者入場の際体温測定を行う。測定前の入場は不可。</p> <p>体温測定者は、マスク・フェイスシールド・手袋を着用する。</p> <p>マスク着用、手指消毒の要請を行う。</p> <p>選手証・登録証の確認を行う。</p> <p>発熱のある者は、所定の用紙に必要事項を記入してもらい、直ちに帰宅を要請する。</p> <p>グラウンドドクターにはフェイスシールド、手袋を渡す。</p> <p>フェイスシールド・手袋・マスクは、来場者がいないときは外してよい。</p>
常時	施設内のドアノブ、手すり、机、椅子等、不特定多数の手が触れる部分を定期的に消毒する。
記録・放送	<p>各々の間隔をあける。大声を出さない。</p> <p>使用した器具は消毒をする。</p>
チェーンクルー	<p>2試合連続は避ける。飲み物を用意する。（熱中症対策）</p> <p>試合終了後 使用器具の消毒を行う。</p>
ボールパーソン	<p>3試合連続は避ける。飲み物を用意する。（熱中症対策）</p> <p>使用されたボールは毎回消毒をして次の使用に備える。</p>
担架要員	<p>傷病者搬出後、手指の消毒を行う。</p> <p>使用毎担架の消毒を行う。</p> <p>飲み物を用意する。（熱中症対策）</p>

撤収時	<p>必要以外の会話は慎む。必要時以外はお互い距離をとる。</p> <p>使用した器具は消毒をする。</p> <p>ごみを拾う・集める人は、手袋を着用する。</p> <p>撤収完了後、手指の消毒をする。</p>
更衣	<p>密にならないよう人数制限を行い、交代で更衣を行う。</p> <p>会話は最小限。相対さないよう注意。</p>
終了ミーティング	<p>密にならないために</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.代表者のみ入室 2.グラウンド等屋外で打ち合わせ 3.全員入室 <p>発声・会話をしない条件で</p> <p>ただし、各々接触しないような間隔を取る。</p> <p>使用した備品・ドアノブ等は消毒をする。</p>
連盟備品の消毒	<p>会場に持ち込み使用した備品の消毒を行う。</p> <p>ただし、連日の使用でなければ（次の使用まで3日以上空く場合は）消毒の必要なし。</p>
退場	<p>更衣終了、消毒完了後は直ちに会場から離れること。</p> <p>会場周辺に滞留することの無いようにする。</p>

観戦者、見学者対応

見学者	<p>*見学者の対応は、全て見学者関係校が行う。</p> <p>関係校登録選手・スタッフ1名につき2名までとする。</p> <p>入場は、全員が一度に行う。そのため、集合時間を設定する。その際には密にならないように注意する。</p> <p>誘導は、見学者関係校の関係者が行う。</p> <p>全員の氏名・住所・連絡先を東海連盟に当日届け出る。</p> <p>入場の前に、体温測定・手指消毒・体調確認を行う。</p> <p>マスクを着用する。</p> <p>入場後は、入場口を閉鎖する。見学者が出入りする場合は、見学者関係校の関係者が開閉し、解放状態にならないように立ち会う。</p> <p>見学時、大きな声を出さない。</p> <p>見学席では、グループ間で座る場所の間隔をあける。</p> <p>試合前、試合中、試合後に会場出入口等に集まらない。</p> <p>1日2試合開催される場合は、1試合目の見学者が全て退出した後に2試合目の見学者を入場させる。</p>
観戦者	<p>*観戦者の対応は、全て連盟役員・設営校が行う。</p> <p>必要とされる場合は、全員の氏名・住所・連絡先を記録する。</p> <p>入場の前に、手指消毒を行うよう要請する。</p> <p>マスクを着用する。</p> <p>観戦時、大きな声を出さない。</p> <p>観客席では、グループ間で座る場所の間隔をあける。</p> <p>試合前、試合中、試合後に会場出入口等に集まらない。</p>

感染発生時	
感染が疑われる者が発生した場合（症状発症者）	
本人	チーム責任者に直ちに連絡する。 自宅待機とし、体調確認を行う。 症状がなくなった後5日程度様子を見て、新たに症状が出なければ練習復帰する。 症状が続く場合は、大学保健センター・かかりつけ医・保健所等に連絡し指示を仰ぐ。
チーム	本人の体調確認を逐次行う。 接触のあった選手等は、体調に十分注意する。
感染が疑われる者が発生した場合（濃厚接触者）	
本人	チーム責任者に直ちに連絡する。 自宅待機とし、保健所等の指示に従う。
チーム	活動を一時中止し、速やかに大学当局、東海連盟に報告をする。 大学当局の指示に従う。 チーム内での接触者を確認し、濃厚接触者のPCR検査の結果が出るまで自宅待機とする。
感染者が出た場合(PCR陽性者)	
本人	チーム責任者に直ちに連絡する。 保健所等の指示に従う。
チーム	活動を停止し、速やかに大学当局、東海連盟に報告する。 体調確認が出来るまで、全員自宅・下宿待機とする。 濃厚接触者には保健所等の指示に従い、検査を受けさせる。 大学当局、保健所等の指示に従い感染拡大を防ぐ。
試合後感染者が出た場合(PCR陽性者)	
当該校	試合後10日以内に感染者が発生した場合は、大学当局 東海連盟と共に対戦校に連絡する。その際には、当該選手のNo. ポジションを伝える。
対戦校	感染者の報告を受けた場合は、濃厚接触者の可能性がある者を保健所等に連絡し、その後の指示を仰ぐ。 活動を停止し、速やかに大学当局、東海連盟に報告する。 体調確認が出来るまで、全員自宅・下宿待機とする。